

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	御坊市家庭教育支援チーム (呼称: HML(ハミル)) URL: http://jimotoryoku.jp/hml/ facebook HML
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	御坊市内全域
活動範囲	御坊市内全域、近隣市町村等
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	15 人 子育てサポーター 3人、教員 3人、人権擁護委員 3人、 キャップ CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト 11人 (重複あり)
具体的な活動内容	・子育て支援講座、講演会の企画、開催 キャップ ・CAP(子どもへの暴力防止プログラム)のワークショップの提供
活動を通して感じていること (成果、課題など)	グループ発足当時、御坊市内には行政主催の親子で共に参加するサークルや教室はあったが、託児付き講座は開催されておらず、本グループが先駆けて託児付きで育児中の親の学びと息抜きにつながるような講座や親同士の交流の場を提供してきた。そして三年前からは御坊市教育委員会と協働し、託児付きの子育て支援講座を継続的に開催。その取組の成果として、最近では御坊市内で開かれる音楽会や、講演会等での託児サービスも浸透し、子育て世代を地域ぐるみで応援できる体制が整えられてきた。今後は、社会問題ともなっている子どもへの虐待が家庭だけの問題ではなく、背景にある孤立、貧困等、地域社会全体が抱える課題として捉え直し、子どもへの暴力を防止するための啓発、取組としてCAPプログラムをいかに保護者、学校、地域の中で活用していくのが課題である。